

田井いまむか
史平成23年度

玉野市

協働のまちづくり事業

事例集

玉野市総務部協働推進課 作成



補助事業 1: 田井歴史資料作成

団体名	田井歴史研究会（URL：http://taitaiyo.com/）	人数	25人
活動分野	4:学術,文化,芸術又はスポーツの振興を図る活動	地区	田井
補助金の 使い道	用紙,筆記用具,コピー代,SDカード,インク,印刷製本委託料,インターネット掲載 委託料,飲料費 など		

1 地域の課題

田井地域は区画整理事業による街並みが整備された地区と多くの史跡や寺院が点在している街旧並みが存在しています。

これらの史跡,寺院などの歴史について,各々に記載されたものはありますが,これまで地区の歴史を一体的にまとめた案内図や書籍はありませんでした。

2 事業内容

参加者はシニア層を中心に地域の方々との協力を得て行われました。

まず,参加者は「歴史ウォーキング」と称し現地を歩きながら現存する社寺史跡を訪ね,現在の様子を写真にまとめました。

個々の史跡や書籍を再調査し,気軽に地域の史跡めぐりができるようにウォーキングマップを織り込んだ,子どもから大人まで親しみやすい歴史冊子「田井いまむかし史跡めぐり」を作成し,学校やコミュニティ団体に配布しました。

また,市内外の人々の目にも触れるようにインターネット上で情報発信を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

本事業の参加者の大半は元来田井地区に居住していますが,史跡や小道を訪れるのは初めてという方も多く,その由来や歴史を知らなかったという声も聞かれました。

調査を進めるうちに,何気なくあるように見える史跡などの中に多くの先人の知恵や愛情が秘められているものや,大切な継承物として世話をしている地域の人たちの絆も感じることができました。

また,地元意識の向上や郷土に対する誇りや愛情を増したという意見も聞かれ,本研究会への史跡ガイドの依頼も増え,地元の関心も高まったものと思われます。

今後の取り組みとしてはボランティアガイドを養成し,要望に応じて史跡を巡る活動や,史跡案内看板の整備,回覧板,市の広報誌,インターネットなどを利用した広報活動を通して若い世代へ積極的に情報を発信していくことを予定しています。

協力事業 協働のまちづくり事業 協働



日吉神社に訪れる参加者。実際に目で見
たことや書籍をたよりに調査します

厄除けなどの御神徳がある
といわれる田井八幡宮

田井はまむかし 史跡めぐり

協力事業 協働のまちづくり事業 協働



参加者は積極的にカメラを構えます

協力事業 協働のまちづくり事業 協働



できあがった歴史冊子



改めて地域の史跡をじっくり眺める
参加者たち

区画整理された街角にひっそりとたたずむ
お地蔵様

協力事業 協働のまちづくり事業 協働

補助事業2:「塩づくりの里・山田」の情報発信及び広報による街づくり事業

団体名	山田まちづくり講座	人数	8人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	山田
補助金の 使い道	インク, CD-R, 用紙, ラミネートフィルム, ラミネーター, ホームページ制作費, 冊子・散策マップ印刷代 など		

1 地域の課題

山田地区には天保12年に完成した東野崎浜塩田以来の塩田の歴史と文化が存在しています。しかし、今までそれを分かりやすい形で市民に広報することが不十分であり、地域への誇りと愛着を深めることが期待できる財産がありつつも、それを十分に生かしていない状況となっていました。

2 事業内容

計 14回の会合と現地確認を行い、情報発信方法の検討、冊子及び地図の編集制作活動を行いました。

11月13日に芸術フェスタと共催の「たまの東街道」で、シンポジウム「塩づくりの里・山田」を開催しました。

3月に「塩づくりの里山田歴史散策地図」と「塩づくりの里山田歴史散策のしおり」を作成しました。

作成したしおりでは、平成23年度に登録有形文化財に登録された「旧専売局味野収納所山田出張所庁舎及び文庫」の紹介や東野崎塩田創始者、野崎武左衛門をはじめとした山田地区の塩田の歴史に影響を与えた功績者について記されています。

そして、これらの歴史をホームページにも公開しました。

[ホームページ URL] <http://siosato-yamada.jpn.org/>

3 事業効果と今後の取り組み

これまで学んだ山田の歴史の遺産に新たな発見が加わり、塩づくりの里・山田の紹介内容をより充実させることができました。

山田地区に残る製塩文化の歴史と遺構をWEB及び冊子、歴史散策地図を通じて、情報発信できる環境が整いました。

これらの活動を通して市民の文化意識の向上、健康増進に資することができました。

今後はインターネットサイトの管理を継続し、案内看板の設置や講座生の高齢化に伴う次代の人材育成と参画に力をいれていきたいと考えています。

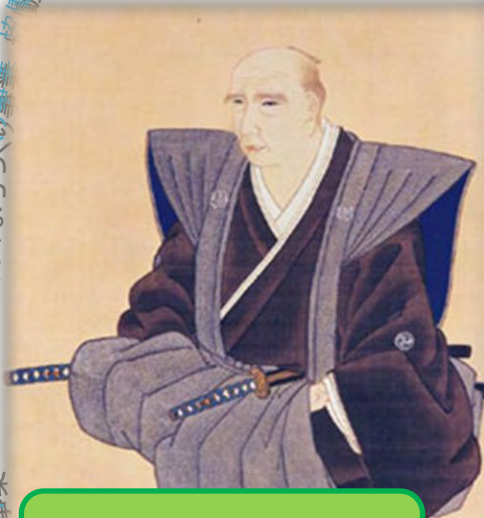


旧専売局味野収納所
山田出張所庁舎

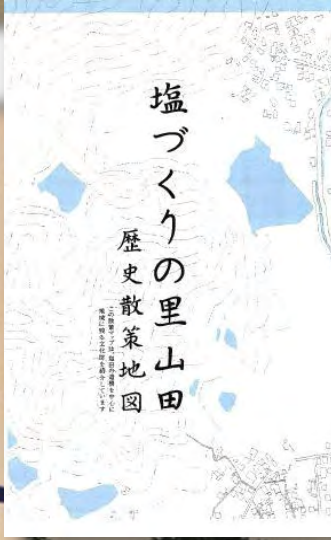
発行した冊子



協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



東野崎塩田創始者
野崎 武左衛門



塩田の様子



完成したホームページ

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業3:街並保存推進事業の一環活動

団体名	櫻屋幸吉保存会	人数	12人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	八浜
補助金の 使い道	碑製作費 など		

1 事業目的

八浜地区は江戸時代より商工業の大変発達した町であり、世界で初めて有人飛行を行ったといわれる鳥人幸吉のふるさとでもあります。これまでもこちらの団体では例年、鳥人幸吉フェア in はちはまを開催し、郷土が生んだ偉人、鳥人幸吉を後世に伝承するための活動をおこなってきました。今回はその功績をたたえる鳥人幸吉の碑を製作し、地域の住民のみならず沿道を通る市民の方にもその偉業を伝えることを目的としました。

2 事業内容

八浜小学校庭で鳥人幸吉フェアを開催し、地区の幼児クラブから小中学校、老人クラブなどの老若男女が一同に集まりました。

鳥人幸吉の碑の製作を依頼し、製作された碑の除幕式を行いました。

製作した碑は高さ 2m30cm、幅 50cm の立派なもので「鳥人櫻屋幸吉生誕の地はちはま」と鳥人幸吉の偉業をたたえる内容となっています。

3 事業効果と今後の取り組み

玉野市民及び八浜地区の住民が鳥人幸吉の偉業を改めて認識したのではないかと思います。

また、今後の取り組みとしては街並み保存事業の一翼を担う活動として幸吉フェアを引き続き開催していく予定です。

そして、幸吉が飛行した地である岡山京橋周辺を考えると幸吉が没した地である磐田市見付町との民間レベルでの交流や街並み保存の推進に力を入れていこうと考えています。

特に見付町では毎年行われる時代祭に参加し、奴行列や幸吉の寸劇にて活動し、見付町のほうからも当市の幸吉フェアに訪問していただき、さらなる活発な交流を期待しています。

補助事業4:花壇製作

団体名	天満町内会	人数	23人
活動分野	5:環境の保全を図る活動	地区	宇野
補助金の 使い道	花の苗, 肥料, 土, 鍬, スコップ, フェンス, 塩ビ管 など		

1 事業目的

天満町内会では町内会の皆さんが楽しみ、集う場所がありませんでした。そこで、道路脇の市有地に花壇を作り、地域の美化を行うことで、空き缶などのポイ捨てを抑止し、さらに町内会の親睦を深め、地域の協力体制の強化を図ることを目的としました。

2 事業内容

まず、遊休地内に残っていた切り株を除去し、肥料、園芸用の土を投入して土壌を改良しました。

次にブロック、フェンスを敷設し、最後に種苗を植え付け育成しました。

また、空きスペースを活用して野菜を育成し配布しました。

3 事業効果と今後の取り組み

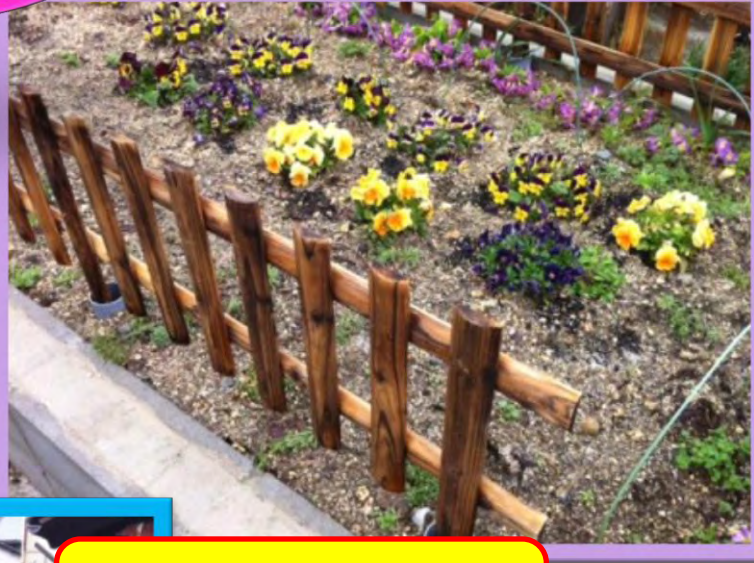
これらの活動を通して、花壇が町内会会員間の共通の話題となり、野菜を配布したことで交流が生まれ、花壇の周知にも繋がりました。

これまでは雑草が生えポイ捨てが絶えない場所でしたが、花壇整備作業の途中からポイ捨てはなくなり、良好な地区内の環境が保持されるようになりました。

今後の取り組みについては、役員の任期が2年となっているため、新役員に事業を引き継ぐことが課題となっていますが、この事業を通じて町内会で積極的に挨拶が交わされるようになるなどの良い効果が得られているため、今後、町内会にできたよい雰囲気を持続するためにも地道に活動を続けていきたいと考えています。



ブロックやフェンスを用いて花壇を制作し
土壌改良後花苗を植えました



地域内で花壇を話題に新たな交流
が生まれました



協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

補助事業5:和田大池西集会所周辺環境美化活動事業

団体名	徒歩の会極楽トンボ	人数	25人
活動分野	5:環境の保全を図る活動	地区	和田
補助金の 使い道	肥料, 花苗, 鍬, コンクリートブロック など		

1 事業目的

徒歩の会極楽トンボでは、山登りなどのウォーキングを通じて会員の健康保持と親睦を深めるために活動しています。平成21年度からは和田大池西集会所周辺の環境美化を図るため、市の空き地や道路沿いの傾斜地の草刈・ゴミ拾いなどの清掃活動を行ってきました。今回、周辺の環境整備へ力をいれる一環として、四季折々の草花を植えるなどの環境美化に取り組むことを目的としました。

2 事業内容

まず、花壇の土壌改良を行い、ブロックを利用して花壇を整備しました。夏にはサルビア、ペコニア、ジニアなどを植え、秋にはビオラ、パンジー、菜の花などを団体のメンバーで手分けして植えました。
また、ゴミ拾い、草刈などの清掃活動を月1回実施し環境美化を図りました。

3 事業効果と今後の取り組み

環境美化活動の結果、植栽後は植栽前には見られなかった彩りがあふれ、景観がよくなったことから集会所周辺への空き缶の**不法投棄が減少**しました。

今後も和田大池西集会所周辺の環境を美しく維持するためには事業を継続的に行うことが重要であるため、今年度と同様な活動に取り組んでいきたいと考えています。

事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



改善前



改善後



事業

協働のまちづくり事業

事業

事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業6: 日の出公園緑化事業

団体名	日の出自治会	人数	19人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	築港
補助金の 使い道	花苗, 肥料, エンジン付き草刈機, 一輪車, エンジン付きチェーンソー, 水遣りホース, 燃料 など		

1 事業目的

日の出公園は玉野市競輪場が設置されている地域であり県内外の多数の来場者がゆきかう玄関口にあります。また、近隣には日赤病院玉野分院があり入院患者の方も多数来られます。

日の出公園の環境美化活動を通じて、自然の花による癒しを与え子どもから大人、特に高齢者の心のケアになることを目的として活動しました。

2 事業内容

日の出ふれあい会館南側に位置する市有地に、チューリップなど様々な花苗を植え、環境美化活動を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

市有地は荒れ地になっていた時期も過去にはありましたが、地区のボランティアが整備することで、細やかな管理が可能になりました。

また、緑化事業を行うことで、地区民の憩いの場を作ることができ、日赤病院の患者さんや競輪場を訪れた人に季節を感じてもらい玉野市の良さをアピールすることができたと思います。

今後の取り組みとしては平成 24 年度もこの事業を継続して行うことと、ボランティア活動者を募集すべく、広報活動に力を入れていきたいと考えています。

公園美化後



草刈の風景



様々な年代が協力して行います



協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

補助事業7:憩い・彩り花壇整備事業

団体名	はなくらぶ	人数	5人
活動分野	5:環境の保全を図る活動	地区	玉
補助金の 使い道	バケツ, ロープ, ビニール袋, 鍬, 鎌, 一輪車, 台車, スポーツ安全保険掛金, 苗, 肥料 など		

1 事業目的

玉地区は市内で最も高齢化が高い地区であることと、商業活動の衰退により地域から活気がなくなり、住民活動全体が低調になっています。そこで、地域の中でも地域外の人々も多く利用する「市民会館」の前を、四季折々の花で彩り、活気を演出することを目指しました。

また、毎日通勤・通学で沿道を往来する人々にも花の色や香りで憩いを提供することを目的としています。

2 事業内容

以前から花壇の管理は続けていましたが、今回の補助を利用して、花壇の土壌改良を行いました。

また、定期的に雑草の除去作業と季節ごとに花苗の植え替え作業を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

例年に比べ財政的な支援が得られたことにより、花壇の土壌改良や例年より多くの花苗を入手できたことで花壇の彩りが増し、地域住民はもとより通行者の花壇への関心が強まったように感じます。

また、地域内でも花壇を話題とした日常会話が交わされ、時には通行中の運転手から声をかけられることもあり、コミュニケーションの機会が増えました。

今後の取り組みとしては引き続き土の入れ替え、堆肥の投入による土壌改良、を図ることと、交差点周辺の視界を確保するため、丈の低い季節にあった花苗を植える予定にしています。

補助事業8:地域活性化の支援と地域環境をよくしよう in 向日比

団体名	向日比1丁目ゼロイチ会	人数	11人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	向日比
補助金の 使い道	軍手, 長靴, ビニール袋, ジャンパー, 帽子, 草刈機, 印刷用紙, インク, 飲料費 など		

1 事業目的

向向日比1丁目では、少子・高齢化に伴う地域活性化が衰退しています。そこで、お揃いのジャンパーと帽子を作成し、地域の一体感を図るとともに、草刈り・清掃を行い、地域住民全員が参加できる行事を通じて地域活性化と環境美化を図ることを目的としました。

2 事業内容

団体名である「ゼロイチカイ TAMANO」といったお揃いのジャンパーと帽子を製作し、草刈などの活動で着用しました。

向日比1丁目の市外道路横や公園の除草、藤棚の剪定を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

地域の環境美化の推進ができ、協働作業により地域のつながりが深まりました。

お揃いのジャンパー、帽子を着用して様々な活動に参加することで、地域住民であるメンバーの中に一体感が生まれました。

今後の取り組みとしては、地域の環境美化活動として行っている草刈は継続して行うこととしています。

また、NPO 法人を設立してこれらの活動を行うことができないか検討したいと考えています。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



作業前



作業後

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

帽子&ジャンパー



作業風景

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



刈り取った草など

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業9:地域環境整備事業

団体名	たかの巣町内会	人数	50人
活動分野	5:環境の保全を図る事業	地区	玉原
補助金の 使い道	ポリ袋, 土のう, 竹ぼうき, 草刈機, 飲料費, 燃料費 など		

1 事業目的

地区内の環境の整備, 地域遊園地の整備, 河川の清掃を通して, 地域住民による協働のまちづくりへの参加を目的としました。

2 事業内容

地域内の河川及び道路周辺の側溝の清掃を3月, 6月, 11月と年3回実施しました。
児童遊園地内の草刈, 草抜き, 整地などの清掃を年3回(随時)行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

地域の環境整備を進めた結果, 地域は美くなりました。

以前に比べて住民のなかにボランティアに対する持続的な意識が芽生えてきたように感じています。

家に引きこもりがちになっていた一人暮らしのご老人をこの機会を通じて屋外に誘い互いに融和をはかることができました。

子どもたちが安心して遊べる場所の提供と安全な維持管理が推進できました。

今後の取り組みとしては, これからも持続的にこの活動を行うことです。

しかし, 地域でも高齢化が進み, 河川内での活動には危険が伴うため将来の参加に対する不安があり, これらの問題の解消も検討する必要があると考えられます。

補助事業 10:環境美化活動支援事業

団体名	大崎スポーツクラブ	人数	25人
活動分野	5:環境の保全を図る活動	地区	八浜
補助金の 使い道	軍手、長靴、メガネ、ごみ袋、一輪車、竹ぼうき、鎌、スコップ、鋤簾、チップソー、熊手、混合油および容器、草刈機、飲料費 など		

1 地域の課題

少子高齢化等の社会環境の変化により、道路・河川の清掃などが、地域コミュニティだけでは担うことが難しい状況となっています。そのため、他のコミュニティ活動や学校の PTA 活動(教育施設の清掃、資源回収等)にも影響が出てきており、特に PTA 活動については主体となる保護者の絶対数が少ないこともあり、関係者一人ひとりへの負担が重くなっています。

2 事業内容

地域コミュニティだけで担うことが難しくなっている活動の一助になれば、という思いで、平成19年に「大崎スポーツクラブ」を立ち上げました。

平成23年度は、クラブ会員有志による大崎小学校、大崎保育園周辺の清掃活動を行いました。具体的には、小学校校庭内にある排水路の土砂除去や小学校敷地内、保育園周辺そして隣接する通学路の草刈及びゴミ拾いをしました。

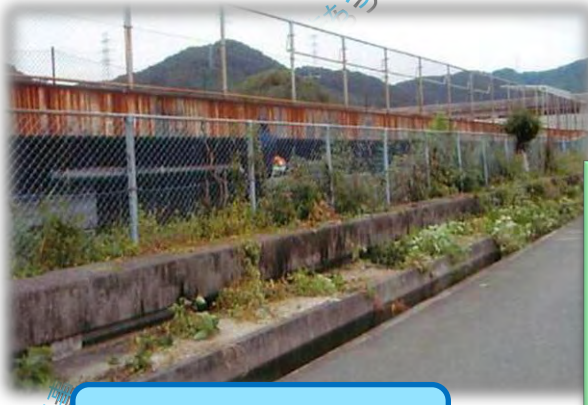
3 事業効果と今後の取り組み

大崎小学校区のクラブ員を中心とした今回の清掃活動を行うことで、会員をはじめ地域住民との親睦を深めることができ、会を重ねるごとに参加者が増えました。

会員はもとより、大崎野球スポーツ少年団の子どもたちの参加する活動を通じて、地域の連帯感が向上しました。

地域の課題に地域住民が参画していくこと、地域の実態を知る住民の声を政策に反映していくことにより「**地域における課題解決力**」が向上し、豊かな「まち」を実現できると考えています。そうした理想の地域社会を形成するための基礎固めの活動として、引き続き、会員相互の親睦を図るとともに、地域住民の協力理解を得られるような事業を継続的に行っていきたいと考えています。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働



改善前



改善後



協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



土が溜まった溝もみんなできれいにします



協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業11:宇野港の未来を担う「子どもたちの手形」事業

団体名	うの港13	人数	13人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	宇野
補助金の 使い道	粘土, 備前焼窯委託料, 窯への運搬委託, ネームプレート作成費 など		

1 地域の課題

これからの玉野市・宇野港には、人が集まる仕組みづくり、人が滞在し交流してもらえるようなまちづくり、そして玉野を広く発信していく力が求められます。特に地域の未来を担う子供たちが、将来成長した時に玉野への郷土愛を感じ、地域のまちづくりについて真剣に考える環境づくりの素地を構築する必要があります。

2 事業内容

港の特性を活かした魅力づくりの一環として、岡山県「宇野港海岸 高辺地区高潮対策事業」工事が施工されるにあたり、宇野港海岸沿いに未来を担う「小さな子供たちの手形」を残しました。

手形についての検討から始まり、事業実施に関する検討をしたうえで、参加者を募集し、そして手形作成会を開催しました。手形の陶板には、子供たちの手形のみならず、子供たちを見守る大人からの応援メッセージを添えました。

一連の活動内容を収めた写真展は地元紙や港湾業界紙に掲載され、より多くの方にこの事業を知っていただくことができました。

子供たちの手形は除幕式を経て、お披露目となりました。

3 事業効果と今後の取り組み

宇高連絡船宇野航送場跡付近である宇野港高辺海岸高潮対策護岸。そこに岡山県が産地である備前焼の手形を残すことで、子供たちが大きくなった時、歴史・文化の面で故郷に愛着と誇りを持ち、親水・防災の面でまちづくりや港の未来について考えるきっかけになってくれればと思います。

どれひとつとして同じものない子供たちの個性あふれる手形と備前焼の鮮やかな赤みとが彩り豊かに宇野港を飾ってくれるようになりました。

今後は、地域のにぎわい創出や各家庭間でのコミュニティや繋がりが生まれることを期待して、手形を残した子供たち等を対象としたイベントを継続的に開いていくことや子供の保護者を中心に定期的に護岸周辺の清掃活動と呼びかけていきたいと思っています。



手形作成会



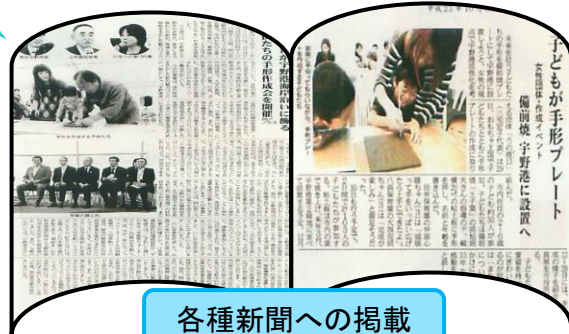
手形の運び出し



窯出し



除幕式



各種新聞への掲載



お披露目された手形

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業



補助事業 12: 竹伐採による地球温暖化防止事業

団体名	エコライフ玉野	人数	45人
活動分野	5: 環境の保全を図る活動	地区	山田
補助金の 使い道	軍手, ブラシ, インク, コピー用紙, 中古動力運搬車, ドラム缶, チェンソー, 会場使用料, 混合油, 運搬車ガソリン, 窯加工, 保険料, 飲料費など		

1 地域の課題

市内の竹林は急速に拡大しており、放置すれば35年後には市内の山林はすべて竹林に覆われる危険性が高いと推測されます。もし完全に竹藪になると、CO₂ 吸収機能が著しく低下し、土壌も軟弱になり地震に弱く土砂崩れの危険があり、人が入ることさえ困難で手が付けられない状況になると考えられます。

2 事業内容

エコライフ玉野と市の協働による宣伝・啓蒙活動として「写真と新聞記事で綴るエコライフ玉野5年史展」を開催しました。

毎月1回孟宗竹を伐採し1年間の竹炭生産に必要な竹を確保します。竹林を整備し、改造された竹炭製造窯により毎週1回炭焼きを行い、炭素を固定化し、CO₂の排出を防いでいます。

これらをミネルバ環境講座や玉野ロータリークラブで活動報告することにより、活動内容やその効果について周知につとめました。

3 事業効果と今後の取り組み

竹1154本を伐採し36.2トンのCO₂を削減しました(福山・中電メガソーラーパネル285枚分に相当)。

竹炭専用窯(6号)の改造やトップカー購入により竹材・竹炭等の運搬が容易になりました。

NPO法人「同舟の園」から借り受けた竹粉碎機により竹パウダーをつくることができました。

今後も竹林整備を一層促進してCO₂削減量を増やすことで、さらに地球温暖化防止に貢献していきます。

また、整備した竹林跡地の「山田里山広場」で玉野JC家族会など子供を元気づける里山づくりや竹粉碎機で作った竹パウダーの農業における効果の検証を続けるなど、様々な活動を展開していきます。

竹伐採の様子



これから竹炭に生まれ変わります



できあがりました



竹炭専用窯の一部



活動を通して参加者の親睦も深まります



協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

補助事業 13: 藤井地区「ポイ捨ての無い きれいな散歩道」啓発活動

団体名	藤井地区自治連合会	人数	7人
活動分野	3: まちづくりの推進を図る活動	地区	宇野
補助金の 使い道	鉄鋼ドリル, 針金, 横断幕, ポール, ロープ など		

1 地域の課題

藤井地区は歩行者自転車専用道および藤井の海岸道という市民の多くが利用する散歩道があるが、ポイ捨て禁止条例制定後も、タバコ・ゴミ・犬や猫のウンなどポイ捨てが多くあります。

藤井地区では、「公衆マナー輝く藤井地区を作ろう」宣言をし、地域環境の改善に粘り強い取り組みを進めています。こういった活動を、玉野市全域に広げるべく、大々的に「ポイ捨て防止運動」に取り組むことで「ポイ捨て禁止条例」の復権に取り組む必要を感じています。

2 事業内容

歩行者道や海岸通に「ポイ捨ての無いきれいな散歩道」の横断幕を掲げ、通勤時や退社時など、有効な時機に口頭宣伝も行い、地域の声を届けました。

近くの企業や商店にも、取り組みの内容を周知し、協力・協働することに努めました。

そして、歩行者道や海岸通を利用する人のゴミやウンに対する汚いというイメージを変えるため、取替えて道具を使わずにゴミやウンを拾う活動を続けました。

3 事業効果と今後の取り組み

横断幕を設置した場所の横の駐車場は、道路から缶・ペットボトル等のポイ捨てが多くありましたが、掲示以後はポイ捨てが無い状態になりました。

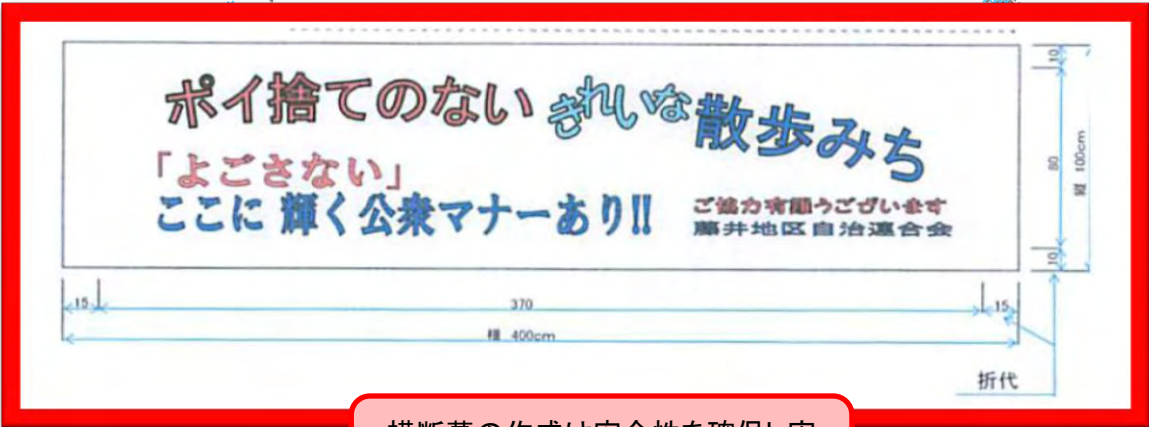
通行人の方からは「良いものができましたね」とお声かけいただき、周知され始めました。

歩行者自転車専用道路は通行人も多く、また、この事業で設置した横断幕は至近距離で内容を読み取ることができるため、啓発効果はとて高いと思われます。

今後は、今回作成した横断幕を利用し、地区内の別箇所への移動設置や地区間協働による他地区への移動設置を検討していきます。

歩行者自転車専用道路は子供たちの通園・通学道であり、その環境美化により子供たちの情操教育に貢献していきたいと考えております。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



横断幕の作成は安全性を確保し実施にこぎつけました

協働のまちづくり事業 協働



このような地道な努力によって綺麗な藤井地区が維持されています

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業 14: 里山づくり探検隊 研究プロジェクト

団体名	藤井地区自治連合会	人数	56人
活動分野	5: 環境の保全を図る活動	地区	宇野
補助金の 使い道	インク, コピー用紙, テープ, 軍手, スピーカ, ロープ, コピー代, 郵送料, 木材, 飲料費 など		

1 地域の課題

藤井地区には住宅地の裏に、管理不十分で大きく成長した樹が倒れている民有林の山があります。この場所は3町内(60世帯)にとって津波時の避難場所となっていますが、崩壊危険箇所を含む場所でもあり、環境の整備が求められています。

山林の所有者と地域とが連絡や相談をできる体制や民有林の山を対象に地域住民がさらに山の防災・治山治水の現状に関心をもつ環境をつくる必要があります。

2 事業内容

地主の方との話し合いにより、「里山活動の推進」について了解を得ました。そのうえで、旧登山道のルート探検に基づき、最初に整備するルートを決定し、3月末を目途に仮復旧できるよう作業をしました。歩道を確保し地盤を強化するために坂道に滑り止め(崩れ止め)を設置し、木の根に光が当たるように枝打ち・シダ刈りをしました。

チラシや会ニュースを発行し、地域住民が相互に共通認識を持ち、山についての会話ができるよう努めました。

3 事業効果と今後の取り組み

住民の山に対する関心が高まり、懐かしい山へ再び登る日を待ち望む声が広がっています。

旧登山道の整備のため、実際に山に入ること、治山治水の現状を理解するためには、専門家の指導が必要であることを痛感しました。

自然林は決して安全ではないことを知り、地域住民の理解や協力があって安全で有用な空間をつくってきたこともわかりました。

今後も地主の方との相互理解を深め、さらに旧登山道のルートについて探検・復旧していきます。そして、地域住民が山の防災・治山治水の現状等に関心を持つことのできるよう、出前講座や機関紙の発行に重点をおこうと考えています。

里山づくり



旧登山道の
環境整備

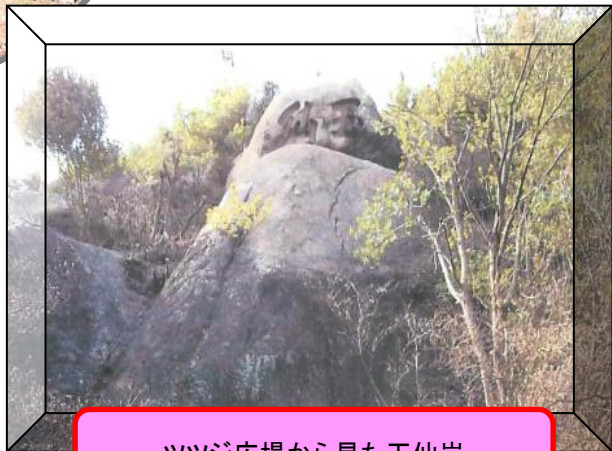


黄色や赤色のテープで
ルートを表示

流れ止め(滑り止め)
を設置



シダ打ちをして
木の根に光が当た
るようになりました



ツツジ広場から見た玉仙岩

補助事業 16: 藤井地区 防災訓練の実施(津波を想定)

団体名	藤井地区自治連合会	人数	25人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	宇野
補助金の 使い道	コピー代, 用紙, 容器, 米, 味噌, ブロック, 飲料費 など		

1 地域の課題

海に接している藤井地区は、津波災害の危険があり、有事の際には地区の方々が速やかに高台に避難できるよう日頃から意識しておく必要があります。

高潮や津波を想定した訓練をすることにより問題点を洗い出し、検討することで、人命の危機に直面しないよう備えます。

2 事業内容

藤井地区の方々の参加による避難訓練および非常時の炊き出し訓練を行いました。

避難訓練所を所有する地主との契約を取り交わし、町内ごとに決めた避難場所へ一齐に避難するとともに、自力で避難できない方を町内の方で助け合い、避難しました。その後、炊き出し体験

避難訓練を体験後、避難場所やルートに危険箇所はないか、車椅子の人を誰がどのように避難させるかなどを確認し、問題点を洗い出すことで解決策等について話し合いました。

3 事業効果と今後の取り組み

津波襲来時に、速やかな高台への避難について、常時、意識してもらうきっかけを創出できました。

また、各町内単位での避難訓練を通して、避難時の集合場所が適正かどうか、避難ルートや避難場所の良否について確認しあうことができました。

危機感を持っている方が多く、初めての訓練にはスムーズに行動できました。

1年も経てば、町内の構成状況も変わることが多いので、今後も定期的に防災訓練等を実施していきたいと考えています。

炊き出し訓練の様子



必要な物資はそろっているかなどの問題点を洗い出し解決に努めます



全員で危機意識を共有します



初めてにもかかわらずスムーズに炊き出しは進行しました



けが、障がいのある方を安全に避難させる方策を話し合いました



補助事業 17:まもるん計測2号 第一期計画

24 時間雨量自動計測体制の整備と標準係数による日時別町内土壌雨量指数の算出

団体名	畑総町内会	人数	7人
活動分野	7:地域安全活動	地区	宇野
補助金の 使い道	雨量計測機器, 情報送受信ソフト, 講師謝礼, ノート, フォルダー, 用紙, マーカー, コピー代 など		

1 地域の課題

平成16年10月20日の土砂災害遭遇以来「土砂災害発生24時間計測・監視体制の確立」に関しては未着手の状態が続いています。

災害が起こった場合に町内住民の方々に対して土砂災害に関する注意をよりタイムリーに喚起していくことが必要になります。

2 事業内容

本事業は町内会での話し合いを経て、町内会事業として実施しました。

2台の気象観測装置を購入・設置し、気象観測を開始し、観測データとアメダス等の比較など町内独自の雨量分析に取り組みました。

町内住民向けに観測結果を広報できるように気象広報担当を決めました。

観測結果のデータベース化やウェブ化を目指し、フリーソフトのダウンロードや機能確認など基盤整備のための準備を行いました。

自宅や集会所で気象観測装置により観測した気象データを見られるかどうか、回線敷設可能性調査を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

気象観測情報や精密気象観測情報の整備・情報発信に必要なソフトウェアの収集・整備・基礎訓練をしました。また、限られた範囲ですが、玉野アメダスの雨量データと町内の雨量の精密な比較や分析ができました。

今回購入した2台の気象観測装置は、安定した観測データが得られるように標準的な運営要領を整備し、今後、町内向けの貸し出しについても検討していきます。

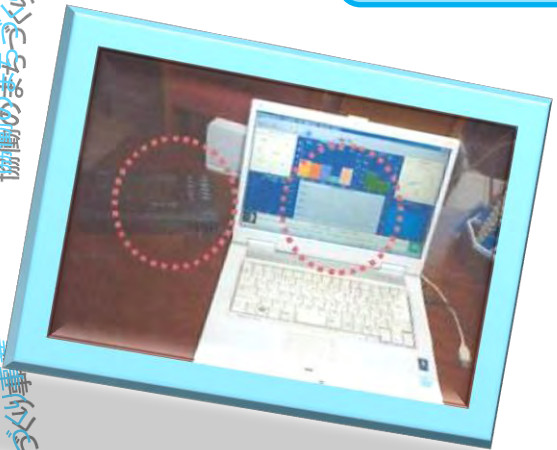
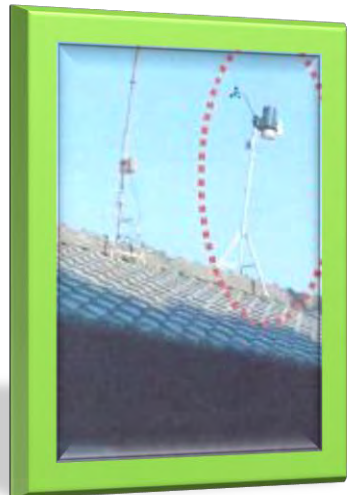
精密で正確な観測データを得る困難さや、台風が町内に接近する際に雨が降る強さに違いがあることなどがわかり、豪雨下での避難など防災面において新たな応用課題が見つかりました。

観測結果の町内向け公開を推進し、町内防災にどのように役立つかについて検討を進めます。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



観測装置とデータ解析



協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

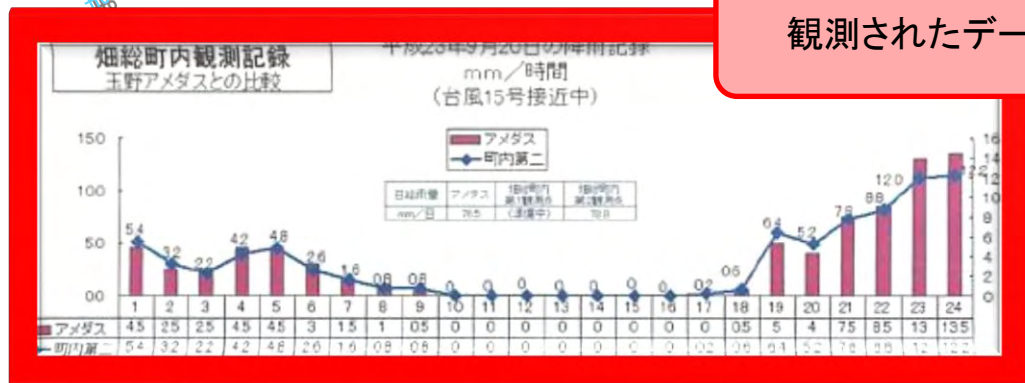
協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

観測されたデータ



協働のまちづくり事業

補助事業18:玉野活性化・地域ブランド化事業「たまの自衛艦カレー」

団体名	玉野商工会議所観光交通委員会	人数	15人
活動分野	14:経済活動の活性化を図る活動	地区	市内
補助内訳	のぼり, チラシ作成費, 商標登録料 など		

1 事業目的

港の活性化, 商圏の拡大, 市民・来遊者の回遊する仕組みづくり, 産業の振興, そして情報の収集・発信など, 玉野市を活性化するためのステップがいくつかあります。

「食」を切り口として, 市民, そして港フェスティバル・瀬戸内国際芸術祭・観光・ビジネスなどで玉野を訪れる方々を対象に, 玉野市内への集客やまちおこしを目指します。

2 事業内容

商工会議所会報において協力販売店を募集, 説明会を開催し販売店を決定しました。

玉野市立玉野商業高等学校より, のぼりのデザイン協力を得てのぼりを作成し, 販売店へ貸与しました(商標登録済)。

事業開始記念イベントのチラシを作製し, 新聞の折り込みや関係機関へ配布しました。

報道機関や情報誌などを通じ PR 活動を行いました。

なお, 今回の事業に当たって, 事務局レベルで自衛隊関係者との情報交換や協力依頼を重ね, 理解を得られるよう関係を構築しています。

3 事業効果と今後の取り組み

チラシ等の効果もあり, 店の予想を上回る集客効果が得られました。

チラシやブログなどがきっかけとなって, 口コミでも広がり市外からの来客や問い合わせがあり, 新聞やテレビといったメディアに取り上げられました。

また, 協力販売店の数や提供日が増え, 広報たまの, ご当地グルメマップへの掲載, たまの港フェスティバルへの出店など, 温玉めしやたまげたシリーズと連携して PR ができました。自衛隊関係者からも好意的に事業を捉えていただき, 継続しやすい環境となっています。

今後の取り組みとして, 瀬戸内国際芸術祭2013の開催に向けて, 協力販売店を増やしながら, 各種イベントに参加し, 他のご当地グルメとも連携した PR 活動をしていきたいと考えています。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



黄色い“のぼり”は遠くからも目立ちます

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



商標登録も済ませました

チラシ→ロコミ→マスコミの取材 嬉しいサイクルが生まれました

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業 19: 第19回 新春親子凧揚大会

団体名	築港東コミュニティ協議会	人数	80人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	地区	築港
補助金の 使い道	のぼり旗, 紅白幕 など		

1 地域の課題

少子高齢化や核家族化の進展により、地域の連帯感や人間関係の希薄さが叫ばれている昨今ですが、当地域においてもそれは例外ではありません。三世代交流ができ、親子の絆を強めながら子供、特に幼少期の子供にとっての「ふるさとの思い出づくり」、地域におけるコミュニケーションなど、幼保育園児から大人まで、情操教育の一環として社会のルールを学ぶ機会が必要です。

2 事業内容

築港東コミュニティ協議会を中心として、田井懇話会、築港西コミュニティ協議会、宇野地区連合自治会が一体となり、凧揚大会を実施しました(平成24年1月3日開催)。

1歳から81歳までの家族連れら約400名が参加し、やっこだこ、連だこなど様々な凧を空高く揚げました。参加者の大半が自作の凧を持参するほか、会場内の手作りコーナーも盛況でした。

3 事業効果と今後の取り組み

近隣コミュニティが一体となり大会を開催したため、地域コミュニティ間の交流を図ることができました。そのため、子供たちにとっては他校の生徒と知り合う良い機会となっています。

また、幅広い年齢層の参加により、世代間交流が活発に行われました。

正月に行うため、大人も参加しやすく、相互の親睦に役立っています。

子供にとってはふるさとをいつまでも忘れないような一生の思い出ができました。

来年度以降もこの凧揚大会は継続して行う予定であり、さらに幅広く参加できるよう、広報活動にも力を入れていこうと考えております。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業



自作のこだわり凧を持って参加の方も多数いらっしゃいました

約400人もの参加者でにぎわいました



完成したのぼり旗



連だこ、やっこだこなど様々な凧が空を舞いました



協働のまちづくり事業 協働

協働のまちづくり事業 協働

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業 20:天神坊ふれあい農園 地域子ども達の農業体験事業

団体名	天神坊ふれあい農園組合	延べ人数	35人
活動分野	11:子どもの健全育成を図る活動	地区	東児
補助金の使い道	ジャンパー, 帽子, 軍手, バケツ, 鍬, こて, ポリタンク, ペンキ, 角材, 保険料 など		

1 地域の課題

少子高齢化が進む当地区において耕作放棄地が増加しており、農業の衰退が危惧されるため、早急に後継者の育成が求められています。

そのためには子ども達が農業体験を通じて自然や人々とふれあえる機会をつくり、子ども達の健全育成や農業への理解を促進する必要があります。

2 事業内容

東田井地地区の子ども達と父兄を招き、当農園で栽培した里芋の収穫体験を実施しました。親子や会員との共同作業で芋掘りを行い、収穫物は芋煮として調理し味わってもらいました。残った芋は持ち帰り、各家庭でも味わってもらいました。

農業者もいるもののソバの栽培はメンバー全員初めてでした。

次に、当農園で収穫したソバでソバ打ち体験会を開催しました。自治会にも賛同を頂き、地区の子ども会をはじめ三世代を招き伝統的な石臼による粉挽き及びソバ打ちを体験してもらいました。出来上がったソバは全員で試食しました。

3 事業効果と今後の取り組み

農業者もいるものの、全員、ソバの栽培は初めてであったため、市外での講習会などにも参加し「手探り状態」で育ててきました。苦労した分、栽培者の収穫への期待は高く、結束も強まりました。

子ども達との協同による農作業の体験からは、親子のふれあい、自然や土とのふれあい、人とのふれあいなどを深めることができました。

子ども達にとっては自然環境の大切さを知り、農業への親しみが生まれ農業に対する理解を深める良い機会となり、当地区への愛着や楽しい思い出がまたひとつ増えたと思われます。

また、ソバ打ち体験会においては地元住民が参加し、三世代交流が図られました。共に作業する楽しさや手づくりの温かみを実感できると参加者から好評でした。

今後は種まきから収穫を含めた事業を実施したいと考えております。



里芋の収穫体験



収穫した里芋は芋煮に



石臼によるそば挽き



挽いたそば粉をまぜてこねます



生地を延ばします



そばが形になってきました



できあがったそばは全員で試食しました

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

補助事業21:伸ばそう！！健康寿命

団体名	玉野市愛育委員協議会	延べ人数	773人
活動分野	1:保健, 医療又は福祉の増進を図る活動	地区	市内
補助金の使い道	ボランティア行事用保険, 講師謝礼, タスキ代, 飲料費, 用紙 など		

1 地域の課題

玉野市では、若い世代が市外に転出する傾向があり、少子高齢化が進んでいます。その結果、核家族化が進み、高齢者のみの世帯では加齢や疾病が原因で介護が必要な場合でも介護してくれる家族がおらず、老老介護を余儀なくされている現状があります。

2 事業内容

上記課題に対応する方法の一つとして、健康寿命を延ばすことが必要であり、介護を必要としない健康な身体を保持・増進することを目的に、生活習慣に運動をとりいれるきっかけ作りとして深山ウォーキング大会を行いました。ウォーキング後にはアコーディオン演奏と歌、フォークダンスも行われました。

また、がんの早期発見とがん検診受診の必要性を理解し、病気による寝たきりを防止するため、乳がんについての講演会を行い、「元気が一番！まつり」や講演会の会場で愛育委員が「がん検診を受けましょう！」と書かれたタスキをかけて、来場者にごがん検診の受診勧奨を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

ウォーキングを通して、健康を維持するためには運動、休養が大切であること、仲間がいることが継続するポイントであることが参加者の気づきとなりました。

ウォーキングだけでなく、自然の中で音楽を聴き、声を出して歌うことでリラクゼーションができていました。

また、初対面の人とも一緒にフォークダンスを踊ることで人とのつながりの楽しさを再確認できる場となりました。

講演会では乳がんの早期発見には検診を受診することが最善の方法であることを認識できました。

また、タスキをかけて活動を行うことで効果的な啓発活動になりました。

今後も運動、がん検診の重要性について活動を通して啓発します。

補助事業 22: パラダイス玉野 ノルディックウォーキング おやじサンタクロース

団体名	パラダイス玉野	人数	8人
活動分野	3: まちづくりの推進を図る活動	地区	市内
補助金の 使い道	講師謝礼, 衣装購入費, リース料, 保険料, 燃料費 など		

1 地域の課題

社会のために何かしたい, と思っけていても参加するきっかけをつかめない方がたくさんいらっしゃると思われます。

また, 増加する高齢者の健康不安と人口の高齢化による社会参加機回は減少傾向にあります。

そこで, 市民, 特に高齢者の健康を増進するものや, 市民の社会活動への関心を増進したり経済循環を促したりするような機会が必要だと思われます。

2 事業内容

ノルディックウォークのウォーキングイベントを深山公園で合計3回実施しました。

岡山県ノルディック連盟から講師をお招きしたり, 県立大学の教授にご指導いただいたりしながら, ポールをついてウォーキングをしました。ポールをつくことで上半身が伸び, 全身運動となると共に下半身の負担軽減となるものです。

クリスマスには, サンタクロースに扮し, 事前に保護者から預かっていたプレゼントを地域の子ども達に配布しました。

3 事業効果と今後の取り組み

年配の方の健康つくりと社会参加機回の創出を目的に企画したノルディックウォークのウォーキングイベント。最高年齢88歳の参加者もあり, 歩きやすい・しんどくない・腰がのびて歩きやすくなった等のお声をいただき, リピーターが増え, 大変好評でした。

玉野市外からの参加者もいたため, 市外との交流に一役かえるイベントとなりました。

また, 「おやじサンタクロース」については, 以前より非常に人気の高いイベントです。お子さんがいづれ退職する世代になったとき, 自分がしてもらったことを地域に返す, 地域貢献への種をまくことができ, お子さんのご両親世代に対しても市政参加を促す効果が期待できます。

今後, 事業を継続するとともに, ノルディックウォークイベントについては, 多数回開催することを検討していきます。

これからノルディックウォーキングに出発します



ポールをつきながら歩くことでより高い健康効果が得られます



参加者は深山でさわやかな汗を流しました



おやしサンタの活動



協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業

補助事業23: 見守りボランティア

団体名	八浜小学校防犯パトロール隊	人数	124人
活動分野	7: 地域安全活動	地区	八浜
補助金の 使い道	ベスト、型代、プリント代、ラミネートフィルム など		

1 地域の課題

八浜小学校区は玉野市北部に位置し、南東部は金甲山を主峰とする一連の丘陵に囲まれ、北西部は見島湖に面して岡山市に接しています。

見石、東七区地域では徒歩で30分ほどかけて登校してくる児童が多く、波知地区では児童数が年々減少し、学年下校をする際に一人で下校する児童も増加しています。その上、岡山市に隣接する地理条件から交通量も多く、防犯上の心配が多い環境でした。

2 事業内容

このような地区の環境から、平成17年度より地域の有志の方が児童の登下校する時間帯に合わせて児童の見守りを行っており、平成21年度には防犯パトロール隊の隊員にお揃いのベストを配布して結成式を行いました。

日々活動にベストを着用してきた隊員や新規隊員から新しいベストの配布を要望する声が聞かれるようになり、新たに防犯パトロール隊のベストを製作し、配布しました。

平成23年3月に防犯パトロール隊の結成式を行い、登録者104名と教職員が登下校時を中心に八浜小学校区の通学路においてベストを着用してパトロールを行いました。横断歩道等の危険が予測される場所などで活動し、地域の安心安全の確保や登下校中の児童の見守りを行いました。

また、防犯パトロール隊の募集も積極的に行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

防犯パトロール隊を結成、活動することで児童が大きな事件、事故に巻き込まれることなく、安全、安心して登下校することができています。また、ベストの着用により住民の防犯意識が高まり、視覚的に犯罪防止等の効果も得られているのではないかと考えられます。

今後は防犯パトロールを継続して行うことで、防犯意識の啓発と安心安全の確保に引き続き努めていく予定です。また、防犯パトロール隊の募集を引き続き行い、事業を充実させていく予定です。

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

地域の安心安全の確保に努めます



協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

協働のまちづくり事業



ベストの着用により防犯意識が高まりました

協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業 協働のまちづくり事業

補助事業 24:あすなるワーク

団体名	あすなる会	人数	17人
活動分野	11:子どもの健全育成を図る活動	地区	市内
補助金の 使い道	保険料, 講師謝礼, 郵送料, ファイル, コピー代, 用紙, 封筒, 領収書, インク など		

1 地域の課題

特別な支援を必要とする児童・生徒が将来就労を考えるにあたり、職業体験する機会も少なく、就労する場も不足しています。子どもたちの自立のため、地域との関わりや障がいに対する理解をさらに進めていく必要があります。

2 事業内容

あすなるワークとは、市内の特別支援学級に在籍する子どもたちを対象とした就労体験のプログラムです。身近な地域にある企業や店などに協力していただき、子どもたちができそうな仕事を選びます。放課後または休日を利用して、1回1時間くらいの活動を半年ほど継続して行います。お仕事はサポーターと一緒にいき、わからないところをサポーターに支援してもらいます。

随時、サポーターや協力企業等を募集しながら、あすなる会会員に内容を説明し、前期・後期にわけてあすなるワーク体験をした後、ワーク体験発表会を開催しました。

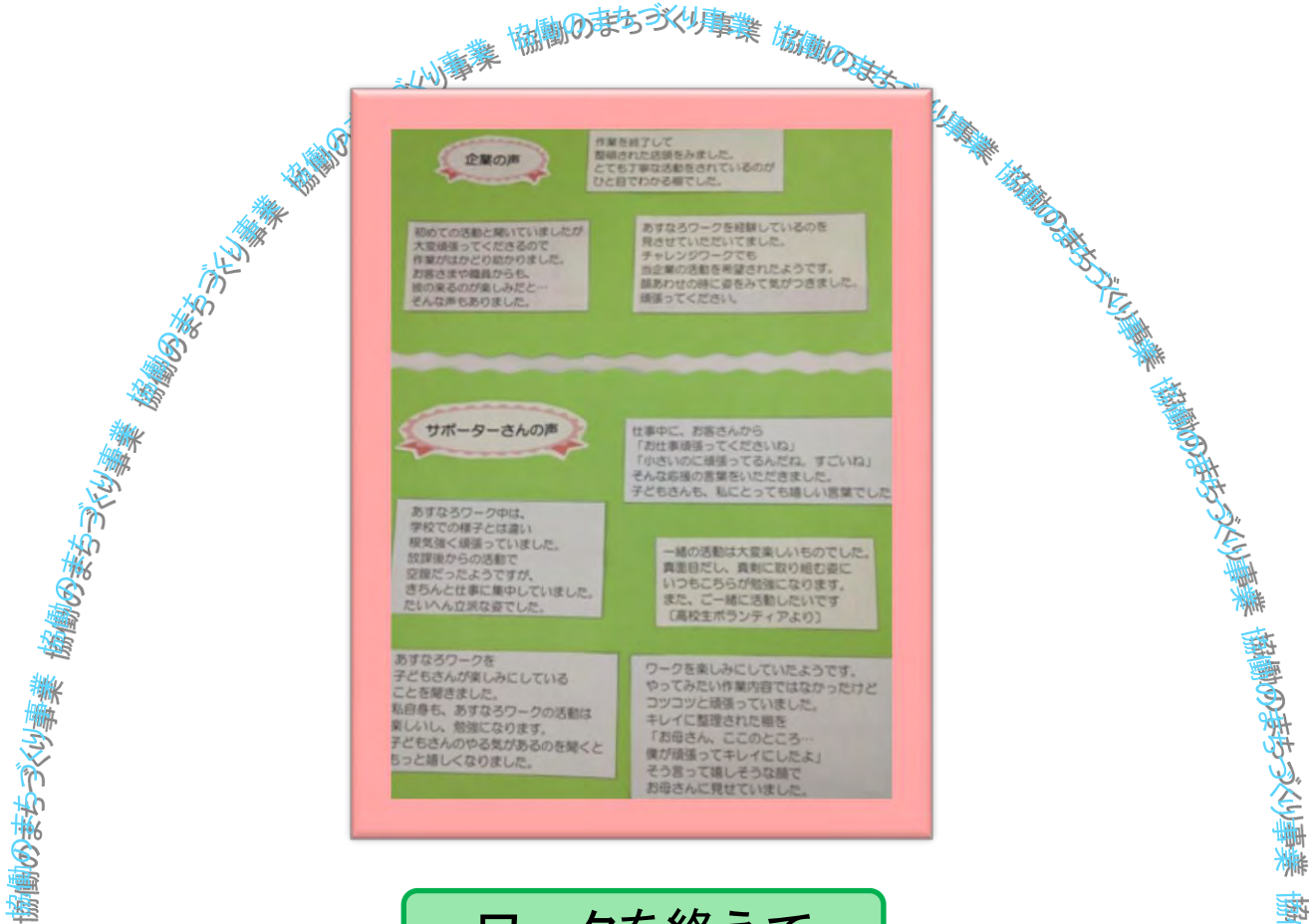
3 事業効果と今後の取り組み

玉野市の企業や施設であすなるワークを受け入れて頂いたことにより、地域の方々に特別な支援を要する子どもたちの就労について理解していただく良い機会となりました。

そして何より子どもたちが、あすなるワークに参加することにより、自分の**適性や将来の就労について考えることができました。**

この事業において補助をいただき、サポーターやワーク参加者が保険に加入することができ、安心して事業を行うことができました。

来年度も引き続き、あすなるワークを継続して行う予定であり、今後は新規の協力企業の開拓、特に公共施設の協力を増やしていきたいと考えております。



企業の声

作業を終了して
説明された点頭をみました。
とても丁寧な活動をしているのが
ひと目でわかる解でした。

初めの活動と聞いていましたが
大変頑張ってくださるので
作業がはかどりました。
お前さまや職員から、
他の業者の作業が楽しみたいと...
そんな声もありました。

あすなるワークを経験しているのを
見せていただけていました。
チャレンジワークでも
当企業の活動を希望されたようです。
感謝の気持ちに溢れていました。
頑張って下さい。

サポーターさんの声

仕事中に、お客さんから
「お仕事頑張って下さいね」
「小さいのに頑張ってるんだね、すごいね」
そんな応援の言葉をいただきました。
子どもさんも、私にとっても嬉しい言葉でした

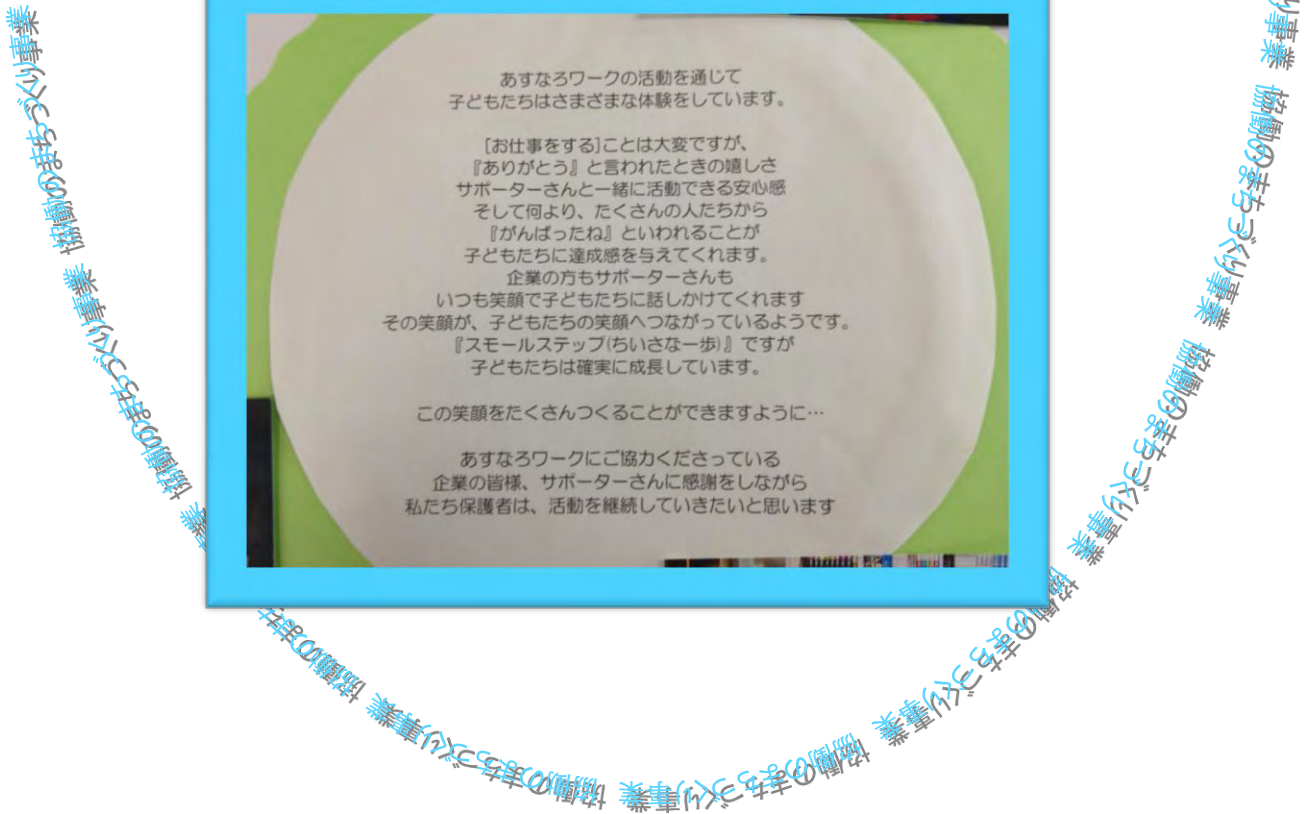
あすなるワーク中は、
学校での様子とは違い
嬉しそうに頑張っていました。
放課後からの活動で
空っぽだったので、
きちんと仕事に集中していました。
たいへん立派な姿でした。

一緒に活動は大変楽しいものでした。
真面目だし、真剣に取り組む姿に
いつもこちらが勉強になります。
また、一緒に活動したいです
〔高校生ボランティアより〕

あすなるワークを
子どもさんが楽しみにしている
ことを聞きました。
私も、あすなるワークの活動は
楽しいし、勉強になります。
子どもさんのやる気があるのを知ると
もっと嬉しくなりました。

ワークを楽しみにしていました。
やってみて作業内容ではなかったけど
コツコツと頑張っていました。
キレイに整理された箱を
「お母さん、ここはどこ...」
僕が頑張ってキレイにしたよ」
そう言って嬉しそうな顔で
お母さんに見せていました。

ワークを終えて



あすなるワークの活動を通じて
子どもたちはさまざまな体験をしています。

【お仕事をやる】ことは大変ですが、
『ありがとう』と言われたときの嬉しさ
サポーターさんと一緒に活動できる安心感
そして何より、たくさんの人たちから
『がんばったね』といわれることが
子どもたちに達成感を与えてくれます。
企業の方もサポーターさんも
いつも笑顔で子どもたちに話しかけてくれます
その笑顔が、子どもたちの笑顔へつながっているようです。
『スモールステップ(ちいさな一歩)』ですが
子どもたちは確実に成長しています。

この笑顔をたくさんつくることができますように...

あすなるワークにご協力くださっている
企業の皆様、サポーターさんに感謝をしながら
私たち保護者は、活動を継続していきたいと思えます



玉野市協働のまちづくり事業事例集

発行年月日 平成24年9月

編集 玉野市総務部協働推進課

玉野市宇野1-27-1

TEL (0863)32-5567